

平成30年度 埼玉県学力・学習状況調査 正答率及び伸びの経年変化

1 調査結果(小学校)

本年度		4年生				5年生				6年生			
		国語	算数	国語	伸び	算数	伸び	国語	伸び	算数	伸び		
		埼玉県平均正答率	62.0	62.1	58.6	↑ 2	56.8	↑ 2	64.9	↑ 2	55.2	↑ 2	
幸手市平均正答率	65.9	63.8	60.9	↑ 3	58.9	↑ 4	67.6	↑ 3	57.0	↑ 3			
H30県平均との差	3.9	1.7	2.3	1	2.1	2	2.7	1	1.8	1			
昨年度参考	H29県平均正答率	67.3	61.8	67.6	2	61.6	2	68.2	1	62.3	1		
	H29幸手市平均正答率	66.0	60.4	66.9	3	58.8	3	66.4	3	60.6	2		
	前学年時の県平均との差	△ 1.3	△ 1.4	△ 0.7	1.0	△ 2.8	1.0	△ 1.8	2.0	△ 1.7	1.0		

★「伸び」について
 「伸び」とは、「学力推定結果の平均値(=能力値)」を、学力を測定する尺度上で一定の間隔で分割して表したものの(レベル)を、昨年度と比較したときの差分を表します。
 この「伸び」が高いほど、昨年度からの学力の伸びが大きいと考えられ、昨年度実施時から今年度実施時までの、各学校や市教育委員会における施策の効果が検証できるものと考えられています。
 ※「H29県平均との差」の数値は、平成30年度現在の児童生徒の、一年前の状況を表した数値です。そのため、現在小学校4年生の数値はありません。

同一集団を比較すると・・・
 ①5年生の国語の県平均点との差は△0.7であったが、6年生になると+2.7にまで向上している。算数では、△2.8であったが、6年生では+1.8にまで向上している。各年度の問題の難易度や県の平均点が違うにしても、同一集団として考えると、国語の平均の伸びは+3ポイント、算数の平均+4.6はとみることもできる。
 ②中学2年生の国語の幸手市平均点は55.8と県平均を0.2ポイント上回っている。しかし、①と同じように考えると中1では県平均との差が1.3ポイントあったが、中2では0.2ポイントしか上回っていないとも見ることができる。

2 調査結果(中学校)

本年度		1年生				2年生					3年生					
		国語	伸び	数学	伸び	国語	伸び	数学	伸び	英語	国語	伸び	数学	伸び	英語	伸び
埼玉県平均正答率	55.2	2	58.1	2	55.6	1	51.0	1	65.4	61.7	1	59.1	2	58.5	4	
幸手市平均正答率	53.7	1	57.4	2	55.8	1	50.2	1	62.0	57.7	1	55.4	2	49.6	5	
H30県平均との差	△ 1.5	△ 1	△ 0.7	0	0.2	0	△ 0.8	0	△ 3.4	△ 4.0	0	△ 3.7	0	△ 8.9	1	
昨年度参考	H29県平均正答率	64.4	2	65.9	1	59.1	2	54.8	2	59.7	57.2	2	61.7	2	55.3	4
	H29幸手市平均正答率	65.7	2	66.5	2	55.6	1	48.2	1	49.7	51.6	1	53.3	2	45.6	4
	前学年時の県平均との差	1.3	0.0	0.6	1.0	△ 3.5	△ 1.0	△ 6.6	△ 1.0	△ 10.0	△ 5.6	△ 1.0	△ 8.4	0.0	△ 9.7	0.0

全体の考察
 ・小学校の幸手市平均正答率は、全ての学年・教科において県の平均点を上回っている。さらに、伸びを見ても県平均を全ての学年・教科で超えている。これらから幸手市全体として小学校では学力の向上が図られている。今後さらに、各学校、各担任が行ってきた効果的な取り組みについて調査し、幸手市学力向上推進委員会で共有し、各学校に広めていく。
 ・中学校の幸手市平均正答率は、中学2年生の国語の幸手市平均点が県平均を0.2ポイント上回っている。しかし、それ以外は、県の平均点に達していない。伸びに関しては、県の伸びと同じである。この結果と生徒質問紙の解答を合わせて考えると、授業改善、家庭での学習、スマホ等の生活環境の各側面から見直しを図る必要がある。現在は、昨年度の県学調と全国学テの分析をもとに、苦手な問題を抽出した「パワーアップシート」を作成し、夏季休業中に取り組んでいるところである。